

令和3年度 障がい者在宅施設敬仁会館（在宅）事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ① 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ② 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ③ 施設機能の活用による地域貢献・社会貢献の実践
- ④ 働き甲斐のある職場作り

3. 実施事業

(1) 就労継続支援B型

* ワークサポート敬仁会館	定員 54名
* ワークサポートあしたば	定員 20名
* ワークサポート琴浦	定員 20名

(2) 就労移行支援

* ワークサポート敬仁会館	定員 6名
---------------	-------

(3) 共同生活援助（グループホーム）

* グループホーム敬仁会館	定員 60名
* グループホーム琴浦	定員 10名

4. 重点目標

- ① 利用者の人権を尊重し権利擁護に徹した「安心して安全な専門性のある良質なサービス」を提供し、利用者・家族・関係機関・地域から選ばれる事業所運営を行う。
- ② グループホームは利用者の生活拠点として孤立の防止、生活不安の軽減、身体・精神状態の安定を目指したサービスを提供する。
- ③ 就労支援事業は生産活動や職場体験を通じ、就労に必要な知識・能力向上のための訓練、就労に関する相談支援を実施する。
- ④ 就労支援・共同生活援助事業ともに利用稼動目標を設定し、良質なサービスの根幹である安定経営と健全経営を目指す。

※以下の6項目の目標達成に向けた活動を実施する

(1) 人材育成と職場定着

- ◆ 上席による面談やアンケート等を活用し、労務管理、メンタル・ストレスマネジメントも踏まえた業務効率（業務の標準化）や労働環境（有給取得・残業減）等の改善に取り組み、満足度の向上を目指す。また、利用者からのハラスメントに対しては適切な対応で改善に努める。

- ◆ 各種研修会（オンライン活用）へ積極的に参加し、専門性を高めるとともに質の向上を目指し、人材の育成と職員定着に努める。
- ◆ 障がい者支援・福祉の仕事を目指す学生等の積極的な実習受け入れを行い、職員がメッセージの役割を担うことで人材確保と定着に協力する。

（２）利用者へのサービス提供

- ◆ 居住及び作業環境やルールの見直しするとともに、事故防止、防犯、防災体制を徹底し安心安全なサービスを提供する。
 - ・ GHにおいては、食事提供等サービスのあり方、業務の見直しに向けて取り組みする。また、高齢の障がい者に対してはそれぞれの心身状況に応じた高齢施設への移行を進める橋渡しを行う。
- ◆ 生きがい・働き甲斐を感じる生活環境と工賃確保含む作業支援を充実する。
 - ・ 就労移行支援事業は ICT 活用による文書電子化、広報誌作成等の新規作業へ取り組み、障がい者の新たな雇用に協力する。
 - ・ 利用者の就労や生産活動等の参加について、地域住民等と協働した支援、ピアサポートの活用に向けて検討する。
- ◆ コロナ禍における事業所内の余暇活動を充実する。
 - ・ 職員、利用者の得意分野（アイデア、工夫）を活用し、様々なレクリエーションや創作活動等を実施する。

（３）リスク対策（感染・安全・災害等）

- ◆ 各種防災や感染症等への対策強化し、訓練・研修等による利用者及び職員の意識高揚を図り、徹底した安全管理に努める。特に新型コロナウイルス対策については引き続き感染対策を強化する。

（４）施設・設備整備

- ◆ 優先順位の高い老朽化した設備・資産等の更新
- ◆ 利用者のサービス向上・生活環境改善・作業生産性向上対応のための設備整備
- ◆ 各事業所の定期点検による建物維持と施設内外の環境美化

（５）地域連携・社会貢献

- ◆ 見学実習の積極的な受け入れで障害者福祉教育の一躍を担う。
- ◆ 各種地域イベントに参加することで事業所の情報発信と交流活動を推進する。コロナ禍においてはオンラインの活用する。
- ◆ グループホームは在宅の視点から地域交流を促進する。
- ◆ 事業所の顔が見える取り組みとして、機関紙・ホームページを充実し地域へのタイムリーな情報配信する。

(6) 経営管理

- ◆ 稼働目標及び経営数値目標達成の為、中部圏域障がい者データの戦略的分析と対策実行する。
 - ・ 琴浦事業所は立地圏域に合わせた、地域密着型の効率的な施設運営を目指す。(利用者・作業等)
- ◆ 役職者への各種情報提供等で経営参画の意識を高める。

5. 新規事業

- * 新規事業無し

令和3年度 障がい者入所施設敬仁会館（入所）事業計画

1. 施設理念

「利用者の人権を尊重し、権利擁護に取り組みます」

2. 施設方針・テーマ

『ともに働き、ともに生きる施設づくり』

- ⑤ 徹底した安全管理とコンプライアンスの徹底
- ⑥ 利用者が「生きがい」と「働きがい」を感じる支援サービスの提供
- ⑦ 施設機能の活用による地域貢献・社会貢献の実践
- ⑧ 働き甲斐のある職場作り

3. 実施事業

（1）障害者支援施設

* 施設入所支援	定員 65名
* 短期入所	定員 5名
* 生活介護	定員 80名

（2）特定相談支援事業所

* 障がい者サポートセンター 敬仁

4. 重点目標

- ・ 地域における障がい者入所施設として、中度の利用者を受け入れる体制を整備し、安心安全なサービスを提供する。
- ・ 高齢障がい者、重度行動障がい者は、高齢施設・重度専門施設への移行をすすめる「安心安全」な生活環境への橋渡し役となる。
- ・ 令和3年4月の障がいサービス報酬改定を迎えるにあたり、入所・生活介護事業とも明確な利用稼動人数目標を設定し、良質なサービスの根幹である安定経営と健全経営をめざす。

- ・ 以下の6項目の目標達成に向けた活動を実施する

（1）人材育成と職場定着

◆職員の人選による次世代リーダーへの投資（Webのセミナー・研修参加）

◆管理職による年2回（第1四半期と第3四半期）の職員面談で、業務上の悩み・心情面の聞き取りを実施し、労務環境改善と職場定着につなげる

（2）利用者へのサービス提供

◆コロナ禍での利用者の「生き甲斐・楽しみ」を追求した日課やイベント・レクやリハビリ・スポーツ活動の導入によるサービスを提供

◆高齢化・重度化が進む利用者に歯科診療所と連携し、口腔ケアを通じて身体の健康を保つことと疾病予防に繋げたサービスを提供す

る

- ◆ 障害者への積極的な栄養ケアマネジメントの導入と展開でサービスの質向上に取り組む

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

- ◆ 新型コロナの他、各種感染防止対策の継続実施
- ◆ 利用者の各種支援の事故防止・火災や天災など災害防止・警察や防犯協会などの研修受入れで防犯体制の充実を図り、安心・安全の提供でリスク軽減

(4) 施設・設備整備

- ◆ 老朽化・安全面での設備の更新・修繕（経年劣化したマイクロバス・ドアガラスからポリカ変更 他）
- ◆ 開設四半世紀経過の施設建物・設備の保守維持管理の徹底と環境美化の維持

(5) 地域連携・社会貢献

- ◆ 感染対策実施の上で、養護学校や大学・専門学校からの見学実習を受入れ障害者福祉教育の一躍を担う
- ◆ 機関紙以外にHP等各種電子媒体を活用し「障がい福祉」をアピール

(6) 経営管理

- ◆ 稼働目標及び経営数値目標達成の為の数値分析と対策実行するとともに、役職者への各種情報提供等で経営面の意識を高める
- ◆ 圏域の同業他事業所の情報収集
- ◆ 法人の地域包括ケアシステム計画と連動した相談事業所の再構築

5. 新規事業

* 新規事業無し